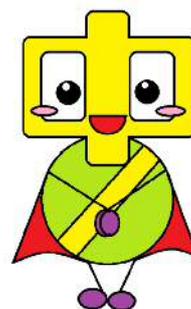
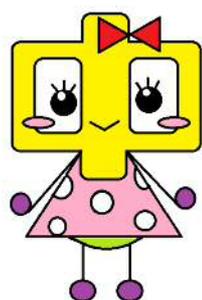


平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果



令和元年 12 月

海老名市立中新田小学校

平成 31 年度（令和元年度）

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

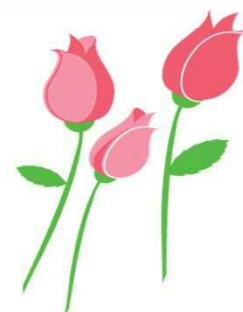
- (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学, 英語)  
出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
  - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
  - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

### (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例)国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

## 調査実施日

平成 31 年4月 18 日(木)



# 小学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
- ・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
- ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
- ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む
- ・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
- ・話し手の意図を捉えながらか聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
- ・目的に応じて、質問を工夫する
- ・話し手の意図を捉えながらか聞き、自分の考えをまとめる
- ・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 「言語についての知識・理解・技能」において、全国平均より高い正答率になっています。文章の意味を考えて正しい漢字を書いたり、ことわざを正しく使ったりすることができます。5年生までの漢字の読み書きが、概ね身についています。

### ◆課題のある点

- 「書くこと」では、目的や意図に応じて、自分の考えや理由を明確にし、整理して書くことに課題が見られます。
- 「読むこと」では、本や文章全体を大まかに捉えて、求められている情報を取り出すことに課題があります。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 現状児童ができているポイントについては、今後も維持、向上できるように継続して指導に取り組みます。
- 文章を書く際に、①目的や意図を正しく捉えること、②自分の考えやそれに繋がる理由を明確にすること、③構成を整理することなどを段階的に学ぶことができるよう、指導計画の見直しを図り、プログラムしていきます。
- 「効果的に読む」ということを軸に据え、書かれていることの主旨や必要な情報を捉えることを意識付けながら資料を読む習慣をつけさせていきます。その際、教科横断的にアプローチし、他教科における資料活用能力なども並行して高めていきます。



# 小学校 算数

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・台形について理解している
- ・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
- ・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
- ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
- ・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
- ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
- ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
- ・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
- ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
- ・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
- ・示された除法の式の意味を理解している
- ・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
- ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
- ・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

○「数量や図形についての知識・理解」において、全国平均より高い正答率になっています。

### ◆課題のある点

○「量と測定」では、示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することに課題が見られます。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 題意を読み取れず、問題で提示されている場面の把握ができなかったり、意味を理解していても記述できなかったりすることが課題と考えられます。問題を図式化したり、自分の考えを文章化して友達に説明したりする活動を授業に取り入れ、場面のイメージを持たせられるように取り組んでいきます。
- 問題を解決するために見通しを持ち、筋道を立てて考え、その考え方や解決方法を説明することに課題が見られます。問題解決型など、単元に応じたやり方で考える力が育つように取り組んでいきます。



# 児童質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

- 「算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートを書いていますか」という質問に対して89%の児童が肯定的に回答しています。工夫して考えを深めようとしている児童が多いようです。
- 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか」という質問に対して86.5%の児童が肯定的に回答しています。「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか」という質問に対して72%の児童が肯定的に回答していることから、発表の機会では、自分の考えを相手に伝えようとする意欲がある児童が多いようです。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」という質問に対しては、当てはまると回答した児童が全国平均を下回っており、算数で学習したことを普段の生活と関連付けて考えることに課題が見られました。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

- 読書は好きと回答した児童の割合が全国平均と比べて高く、読み聞かせやお話会などで本に関心をもたせる活動からも、本を好きに思っている児童が多いと思われる。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている児童が、全国平均と比べて20%程度高く、規則正しい生活を過ごしている児童が多いと思われる。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 地域の行事に参加している、地域や社会をよくするために何をすべきか考えていると回答した児童の割合が20%、13%であり、地域に対して関わろうとする意識は、低いと思われる。
- 「将来の夢や目標をもっています」と回答した児童の割合が県・全国平均よりやや低くなっています。

## 今後の具体的な取組について

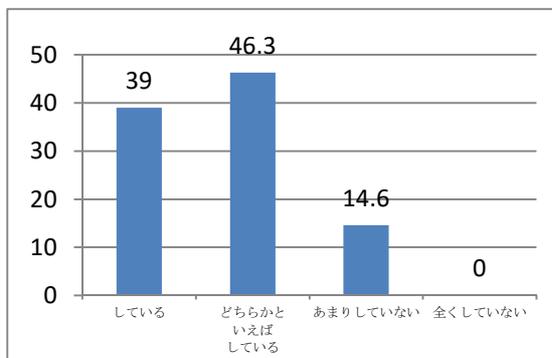
- 各学年にあった内容の「学習の手引き」を配付し、家庭学習の時間や内容の目安を設定していますが児童への一層の指導を行っていきます。算数では、学習内容の定着を図るとともに、算数を「自分で学んでいく力を養う」学習の一環であることの意識付けをしていきます。
- 授業の必要な場面においてタブレットなどのICT機器を活用していきます。児童の興味関心を引き出すだけでなく、児童が画面を操作しながら学習内容を理解したり、イメージを持ちながら学習していく経験を通して、主体的に学習に取り組む力を育てていきます。
- 本校は「かかしまつり」や「もちっ子ひろ場」などの地域と密着した行事への参加が多くあります。また、校外学習などでも地域の方々に多くの協力をいただいています。地域を基盤とした豊かな学習活動が日ごろから展開されていることを児童に再認識させるとともに、今後も地域を大切にする心を育てていきます。

# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

## 1 規則正しい生活をしましょう。

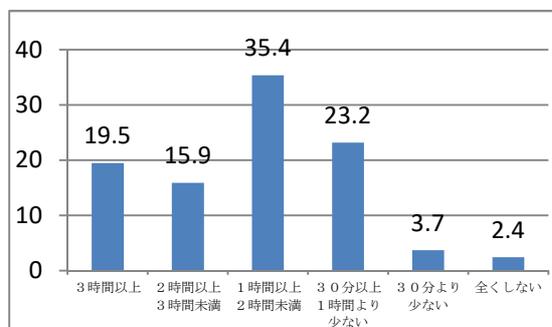
規則正しい生活を送ることで、活動や学習のための体の準備ができます。「早寝・早起き」ができるよう心がけましょう。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

## 2 家庭学習の習慣を身につけましょう。

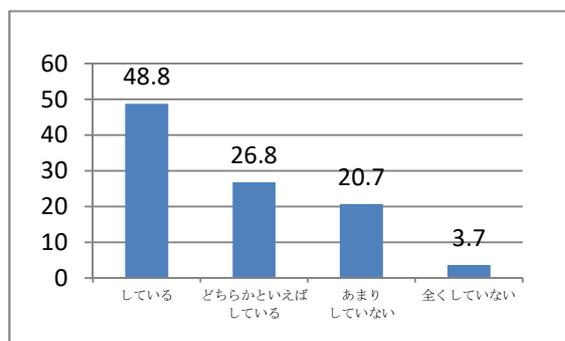
「学年×10分」を目安に、家庭での学習時間を決めましょう。家庭学習は毎日続けることで習慣化されます。



普段、1日当たりどのくらいの時間勉強しますか。

## 3 子どもとたくさん話しましょう。

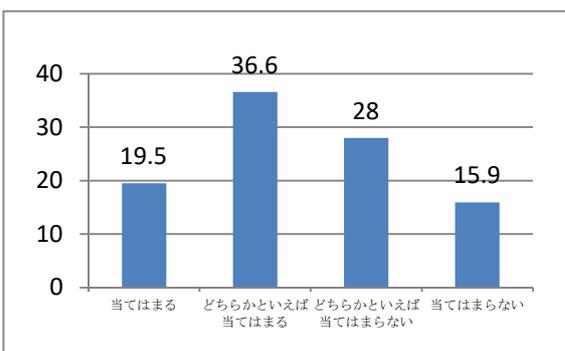
学校での出来事について、話をする時間をできるだけつくりましょう。話を聞いてもらうことが児童の安心感につながります。



家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。

## 4 地域の行事に進んで参加しましょう

地域の行事に参加することで様々な人と関わることができます。また、社会の一員としての意識の高まりへとつながります。



今住んでいる地域の行事に参加していますか。

## 資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

### 【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

### 【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人には、授業参観や運動会などの学校行事に来る

### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

### 【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

## 結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



### 【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係



校庭の水槽に咲いた「河骨」の花